

第一礼拝次第

メッセージ: 郭永東牧師



ブレイズ: 郭永東牧師 ライブ 配信: 伊禮信義先生

郭永東牧師

前奏
頌栄
主の祈り

540

ブレイズ

「収穫の時」

「神様感謝します」

聖書朗読

列王記下4:1~7

祈禱

(旧約聖書 p581)

証し

鈴木秀明兄

賛美

讃美歌23

メッセージ

「エリシャと妻の器」

祈禱

賛美

聖歌292

献金

報告

頌栄

祝禱

新生672b

会衆

会衆

会衆

司会

司会

会衆

牧師

牧師

会衆

司会

会衆

牧師

<巻頭言>

主に自らをゆだねることは

「詩編 37:4-6」

「主に自らをゆだねよ」と訳されている言葉は、ヘブライ語で「エムナー」であり、これは「主を喜べ」という意味です。主を喜ぶということは、私が主から受けた救いを喜び、主と共に歩む一日一日を感謝することから始まります。

「私は主を信じ、救われた。本当に幸いなことだ。この事実を知らなかったらどうしていただろうか。」

このように、いつも救われたことへの感謝があり、心が強められ、常に主を喜ぶのです。しかし、そのような喜びは、単なる決心で生まれるものではありません。

私の心を占めていた世の喜びが徐々に退き、その場所が主の喜びによって満たされていくのです。試練や困難を通る中で、世に対する失望を覚え、心の中から世が少しずつ退いていくとき、はじめて主を喜ぶことができるのです。

6節には「義」と「光」について語られていますが、私たち自身には光はありません。光は命であり、その命は神だけが持つておられ、私たちにはありません。ただ、私たちは神から命をいただき、神の光の中でその光を現すことができるのです。

ですから、自分の努力や力で生き、自分の義や善を作り出そうとしても、何ひとつ現れることはありません。

「福音には神の義が啓示され、信仰に始まり信仰に至らせる。『義人は信仰によって生きる』と書いてあるとおりである」(ローマ 1:17)。

信仰によって生きる生活こそ、義が現れる生活なのです。信仰によって歩むとき、公義は真昼の光のように現れるのです。

♪ ~ ♪ ~ ♪ ~ ♪ ~ ♪ ~ ♪ ~ ♪ ~

第二礼拝次第

メッセージ: 伊禮信義先生

司会: 郭永東牧師

聖書: ヨシュア記 3:7~13

メッセージ: 「ヨルダン川を渡る」

ブレイズ: 「収穫の時」

「神様感謝します」

賛美: 新生435 新生287

♪ ~ ♪ ~ ♪ ~ ♪ ~ ♪ ~ ♪ ~ ♪ ~

ファミリー礼拝

聖書: 使徒 19:11~20

メッセージ: 「エペソでの伝道」